



プログラマー



アニメーター



美容師



介護士



調理師

柏崎お仕事体験塾実行委員会 2022年度 活動報告書



ユーチューバー



ドローン操縦士



パティシエ



保育士



医師

HP : <https://oshigototaikenjuku.com/>



1 実施に至る経緯

2014年から開催してきたお仕事体験塾は、一昨年の2020年には新型コロナウイルスの影響により、大勢が集まったの開催については中止を余儀なくされましたが、代替え事業として、ホームページの充実と「柏崎お仕事ムービー」及び「ガイドブック」の作成に取り組みました。

そのうえで、2021年も感染症対策のため、子どもたちを一堂に会しての開催は断念する一方、どのような形態であれば実施することができるかを実行委員会で検討し、「完全 Web 版でのお仕事質問塾」「動画の追加作成」「本事業の教材化」を事業として決定し、実施しました。

そして、2022年度は3年ぶりの対面型の開催を目指して準備を進めました。特に本事業は、学校側との連携が不可欠になるため、どのくらいの人数ならば開催できるのかを慎重に協議し、「少人数+事前申し込み制」として開催しました。

2 今、考える、お仕事体験塾の必要性

柏崎市においては、人口の減少やそれとかかわる若者の働き手不足が喫緊の課題です。その中で私たちは、学校の先生方や教育委員会の方々、事業所の方々と意見交換を進めた結果、職業体験を通して柏崎で様々な魅力ある職業に就く素敵な先輩と実際に触れ合う機会が大切だと考えました。

そうすることで、柏崎で働く大人の思いに触れ、将来的に柏崎への愛着や誇りをもちながら、未来の柏崎を創る人材になってもらいたいと願います。そして、「未来の柏崎を創りたい」と願う柏崎愛が、社会人になってからの地元就職や、地元を離れたとしてもUターンのきっかけにつながるものと考えています。

3 お仕事体験塾のねらい

- 「柏崎で働く大人の思いに触れ、柏崎の未来を創る人材を育てる」
- ・望ましい勤労観、職業観を身に付け、生涯にわたり生きる力を育む。
 - ・出会った様々な業種や人々との触れ合いから柏崎愛を育てる。
 - ・地元の事業所が連携して未来を担う子どもたちの育成をする。

4 2022年度主な活動

- (1) 体験型でのお仕事体験塾の実施
- (2) お仕事動画撮影&編集&ホームページでの公開（継続事業）

5 お仕事体験塾 活動報告

- (1) 委員会の開催（計8回）
期日：3月24日（木）、4月21日（木）、5月19日（木）、6月23日（木）、7月21日（木）、
8月18日（木）、9月15日（木）、10月7日（金）、10月20日（木）
時間：19:00～21:00

(2) 活動の流れ

4月21日(木)	少人数、体験型のお仕事体験塾実施の方向を確認
5月10日(火)	協力事業所の公募(柏崎日報 掲載)
6月23日(木)	出店事業所の決定
6月下旬～	各協力事業所と事業内容の打合せ
7月11日(月)	チラシ配布(小学校5・6年生、中学校・中等教育学校1・2年生)
7月18日(月祝)	10時より申込受付開始(Google フォーム使用)
7月23日(土)	定員に達していないブースのみ、申込受付を継続
8月9日(火)	協力事業所への説明会(会場:第一中学校)
8月21日(日)	お仕事体験塾の事業実施
10月31日(月)	報告書完成

(3) 開催日時

2022年8月21日(日)

第1部:10:00～11:30

第2部:13:30～15:00 の2回

(4) 会場

柏崎市立第一中学校

(5) 参加対象

柏崎市、刈羽村在住の小学校5・6年生および中学校・中等教育学校1・2年生

(6) 参加児童生徒数

事前の申込者数 : 午前 48名 午後 48名 延べ 96名

当日の体験者数 : 午前 42名 午後 38名 延べ 80名

(7) 協力事業所

	職業名	事業所名
①	プログラマー	株式会社カシックス
②	アニメーター	柏崎アニメスタジオ
③	美容師	美容室 Connect
④	介護士	ツクイ柏崎新田畑
⑤	調理師	THERE IS NOEND
⑥	ユーチューバー	ダイスチャンネル
⑦	ドローン操縦士	小林英樹操縦士
⑧	パティシエ	有限会社綾子舞本舗タカハシ
⑨	保育士	新潟県保育士会 柏崎支部
⑩	医師	医療法人(財団)公仁会 柏崎中央病院

(8) 各ブースの当日の様子

①プログラマー 『ソフトウェアの開発をしよう!』

カシックスさんの「プログラムを作るには設計図が必要です」の言葉に「へー、そうなの？」という驚きからプログラマーの体験は始まりました。普段使っているパソコン、iPadなどのすべてにプログラムが組み込まれていること、いつも遊んでいるゲームのキャラクターに、飛ぶ、跳ねる、物を置くなどの動作をさせるにはプログラムが必要であることを学びました。遊ぶのは得意でも、実際にプログラムを作ってみるとなかなか難しい様子でした。それが、体験の終盤になると設計図の必要性を理解し、「難しいけど面白い」と言いながらプログラムを作っていました。「柏崎にもこんな仕事をしている人がいるんだ」と、プログラマーの仕事にさらに興味をもった様子でした。



「なるほど～、こうなっているのか～」
講師から設計図の説明を受け大きくうなずく



「これでどうだ!!」
自分の作ったプログラムがしっかり動くか確認

②アニメーター 『アニメーターとお絵描きしよう!』

今回はアニメーターになる上で必要なスキルである模写といわれる作業を体験しました。漫画では少しの誤差は許容範囲ですが、アニメーションにする場合は、いかに正確に同じに描けるかが求められるということを教えてもらいました。まず、子どもたちはお手本を見ながら自由に描き、次にアニメーターさんの指示を受けながら、定規などを使って描きました。そして、1回目と比べると、手足のバランスや大きさなど、全員がほぼ同じように描けるようになっていました。アニメを描く上で基礎中の基礎を学べた子どもからは、「アニメがさらに楽しいものになった」と喜びの声が聞けました。また、講師の長澤さんが柏崎を舞台にしたアニメを制作されたことがあると知ると、「先生の柏崎に対する意識が想像以上に高くて驚いた」と、アニメーターと柏崎への関心が増した様子でした。



「ここはこう書くとうまく書けるよ」
「はい、ありがとうございます」



「その調子で描いていくといいよ」
「はい、思い通りに描けてとても楽しいです」

③美容師 『ちょっとカットしてみる?!』

美容師の体験では、子どもたち一人一人が実際にハサミを持ち、相田さんからカットするときのコツや手さばきを教えてもらいました。子どもたちは、真剣ながらも、とても楽しそうに体験しており、「90分という時間があったという間に終わってしまった」と残念がっていました。美容師という職業にかっこいいイメージをもっていた子どもたちも、「ハサミを持ち続け、手が疲れてしまった」「美容師さんは、ハサミを一日中持ち続けていられるなんて、すごい」と、美容師さんの大変さを感じていたようです。また、美容師を体験した子どもたち全員が、「この体験を通じて気持ちに変化があった」と答えていました。お客さんとの会話を大切にしている相田さんの話は、緊張をほぐし安心感を与えたようで、「自分もそのようなしゃべり方ができるようになりたい」と、柏崎で活躍する先輩の姿にあこがれを抱いている様子でした。



「ここが大事、よく見ていてね」
「わあ～、めちゃくちゃ手指の動きがきれい！」



「ハサミの持ち方がいいよ、その調子で」
「はい、左手もこれでいいですか」

④介護士 『不自由さを体験してみよう!』

介護の仕事を理解するために3つの体験をしました。1つ目は、装備品を身に付け高齢者の日常生活をする体験でした。いつもは簡単にできることがスムーズにできなくて、高齢者の方が日常の生活で大変苦労しているということを実感しました。2つ目は、ペアを組み、介護する人、される人となり、車椅子などの体験をしました。介護される役になることで、介護士の「次、その椅子に座ろうね」「ここに段差があるよ」などの声かけが安心感をあたえ、次の行動ができることを体感していました。そして3つ目は、認知症VR体験でした。今回の体験で、介護の仕事は、人と人とのコミュニケーションが一番大事だということを実感しました。また、「困っている人がいたら声をかけてサポートしたい」「自分もほかの年代の人に感謝される人になりたい」と、90分の体験でやさしさのスキルを獲得し、「地元へ貢献がしたい」と、介護士体験を通じて仕事のやりがいを感じていました。



「車いすに乗っているとき、『段差があるよ』って声かけてもらえたらすごく安心した～」



「しんど～い、お年寄りって少し動くだけでもこんなに大変なの～」

⑤調理師 『お弁当を作ろう!』

包丁を使わない、簡単おいしい「鶏そぼろ弁当」を作りました。レシピをもとに、調味料の合わせ方や菜箸を14本も使ってきれいな炒り卵を作る技などを教えてもらい、料理経験がなくてもきれいでおいしそうなお弁当ができあがりました。調理師の中村さんからは、自分の好きなことを続けてきたことが今の仕事につながったこと、柏崎刈羽のおいしい野菜やお米、卵を使って料理していること、おいしい料理で食べた人に笑顔になってほしいと願っていることを教えてもらいました。中村さんが野菜ソムリエとして地元野菜で料理するのは、生産者の顔が分かるので食の安心、安全につながり、柏崎刈羽のおいしい魅力を知ることができるからだそうです。体験した子どもたちからは「柏崎にいて、好きなことを仕事にしていると聞いて、素敵な先輩だと思った」「私も柏崎で料理を作りたい」と、体験を通して柏崎の未来に希望を描いている様子でした。



「14本の菜箸を使うと、細かい炒り卵になるよ」
「ほんとだ! どんどんパラパラになっていく!」



「自分のお弁当箱の形にあわせてとてもきれいに盛り付けできたので、すごく満足です!」

⑥YouTuber 『動画の企画・編集をしよう!』

まず、YouTubeの規約の説明、そして、YouTuberとしてのノウハウ、大切な心構えなどのお話がありました。次に、子ども自身が出演者となり、自分の好きなモノを紹介する1本の動画の作成を行いました。シナリオ作りから、撮影、編集までの体験の中で、カメラへの視線、アテレコ出しなどのポイントを丁寧に教えていただきました。90分という短い時間の中での作業でしたが、最後にはなんとか完成にたどり着くことができ、満足そうな表情の子どもたちでした。「YouTuberの仕事をもっと知りたいと思った」「楽しいだけじゃない、動画編集がとても大変」など、貴重な体験となった様子でした。YouTubeで地域の情報発信をしているダイスさんからお話を聞いて、「いつか柏崎から情報発信してみたい」と夢を描いていたようです。



「ポイントは、カメラへ視線を向けることよ」
「はい、意識してやってみます」



「上手に伝えるには、どうすればいいと思う?」
「見る人の立場になって考えることかなあ」

⑦ドローン操縦士 『ドローンを操縦してみよう!』

子どもたちが教室に入ると、さまざまな大きさのドローンが迎えてくれました。そこで、それらに触らせてもらいながら、ドローンの仕組みや決まりごと、活用方法などを教わりました。次に、ヘルメットと保護メガネをつけ体育館へ移動し、いよいよ操縦体験へ。講師の小林さんが手本を見せながら、分かりやすく教えてくださったので、子どもたちは、すぐにドローンを飛ばせるようになりました。今回、お仕事体験終了時の集合写真は、この体験をした子どもたちにドローンで撮影してもらいました（巻末参照）。このドローン撮影は貴重な体験となり、「とてもワクワクした」と大変喜んでいました。これからますます活用が広がるドローン操縦体験に、「ドローンはたくさんの仕事で使えそう」「今度、柏崎のきれいな風景をドローンで撮影してみたい」と興味が深まっている様子でした。そして、優しく教える小林さんの姿に未来の自分の姿を重ねているような印象を受けました。



「いいぞ、いいぞ、そのままゆっくり動かして」
「う～～、緊張する～～」



「やった～！浮いた、浮いた！」
「お～そうだ、そのまま天井まで上げていこう」

⑧パティシエ 『涼やか夏のパルフェを作ろう!』

「涼やか夏のパルフェを作ろう!」ということで、たくさんのフルーツとスポンジ、生クリームを使ってそれぞれ自由な発想で世界に一つだけのパルフェを完成させました。講師の清野さんは、「パティシエは人を笑顔にする職業」と、自らもユーモアを交えながら子どもたちにプロの技を披露してくださいました。体験後の子どもたちは、「おばあちゃんが作ってくれる誕生日ケーキを自分も作れるようになりたい」「将来の夢はパティシエ。今日は上手にできて楽しい」と感想を話してくれました。柏崎オリジナルのお菓子を作っている清野さんの高い技術と熱い思いに触れ、「私も柏崎でパティシエを目指したくなった」との声もあり、未来の柏崎でおいしいお菓子を作ってくれるのではないかと期待をしています。



「この材料のにおいをかいでみて」
「とってもイイにお～い！早く作ってみたい」



「正面をつくることを意識してみて」
「はい、お菓子は正面が大事なんですね」

⑨保育士 『保育士について学ぼう！』

体験では、柏崎市で勤務されている保育士の方々から、保育士の1日の仕事の様子や内容を説明いただきました。その中で園児たちと一緒にやる体操や、読み聞かせで使う絵本などの紹介もありました。実際の業務の様子を写真で紹介する場面もあり、普段なかなか知ることのできない保育士の仕事を間近で知ることができる貴重な体験でした。体験後半では、実際に保育園で行う、折り紙作りやおもちゃ工作を体験しながら、園児が楽しめるような工夫や知恵を学びました。紹介にあった柏崎の園児の写真を見て、「大変な仕事だけど、柏崎の小さな子どもの成長の姿を見られるから頑張れるのだと思った」「限られた時間でいろいろなことができすごい」「柏崎の保育士さん、かっこよかった」などと、全体を通して保育士と参加者が互いに仕事について深く考える貴重な時間になったと感じています。



「ここ難しいから、少しお手伝いするね」
「よかった～、ありがとうございます」



「私、この絵本読んだことがあります」
「この絵本の、ここが、とっても楽しいよね」

⑩医師 『診察や処置体験をしてみよう！』

まず、「医師になるためには」というテーマで、講師の星山先生ご自身の体験談をお聞きしました。医学部受験から研修医の生活で、大変だったこと、楽しかったこととお話してくださいました。苦楽を共にした学友とは今でも親交が続いており、医療の情報交換もされているとのことでした。その後、診察、滅菌手袋装着、点滴と、すべて本物の器具を使っての体験をし、最後に救命体験を行いました。子どもたちは、普段触ることのできない器具を前にし、緊張の面持ちでしたが、この貴重な体験で、さらに医師の仕事に興味をもったようです。また、星山先生の「地域の人たちのケアをしたい」というお話を聞き、「医師になりたいと思う気持ちが強くなった」「もっともっと勉強して、私も柏崎のたくさんの命を救えるように頑張りたい」との感想があり、未来の柏崎を創る人材に希望を感じました。



「ここは、こうやって通すといいよ」
「なるほど～、もう一回やってみます」



「どう？音の違いわかるかな」
「さっきと違いますね、体ってふしぎ～」

(1) 表面

働く大人の思いに触れ
未来の柏崎をつくろう！

お仕事体験塾

2022年 **8月21日** (日)
午前の部 (受付 9:30/10:00～11:30)
午後の部 (受付13:00/13:30～15:00)

体験費 **1** 体験につき**500円** (資料 材料代
保険料実費)

参加対象 **小学校 5・6年生 中学校 1・2年生**

会場 **柏崎市立第一中学校**
(柏崎市学校町5-27)

・体験ブースは10種類です。裏面を見てください。
・新型コロナウイルス感染症防止のため、
1回当たりの各体験ブースの体験人数は
原則として**5名(先着順)**とします。
・裏面のQRコードから申し込んでください。
・午前と午後の両方を体験する場合、
会場で昼食を食べることはできません。

申し込み受付完了した人には
『体験チケット』を郵送します。
(8月上旬までに発送予定)

当日、『体験チケット』と
『体験費(1体験500円)』を持って、
各受付時間に第一中学校に来てください。

お問合せは
実行委員長 田中有人
080-5450-5092まで

お仕事体験塾のHPは
こちらから

申込受付期間 **7月18日(月・祝) 午前10時 ～ 7月23日(土) 午前10時**

(主催) お仕事体験塾実行委員会 (後援) 柏崎市教育委員会 刈羽村教育委員会

(2) 裏面

プログラマー ソフトウェアの開発をしよう！



プログラミング言語を学び、ソフトウェア開発のお仕事を体験してみます。

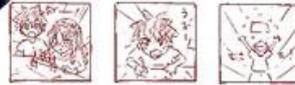


(株)カシックス

アニメーター アニメーターとお絵描きしよう！



プロのアニメーターからアニメキャラクターを簡単に描けるポイントを学び、一緒に絵を描いてみます。



柏崎アニメスタジオ

美容師 ちょっとカットしてみる？！



ハサミの持ち方などを学び、実際にカットをしてみます。さまざまな道具、プロの技を間近で見ることが出来ます。



美容室 コネクト

介護士 不自由さを体験してみよう！



さまざまな器具を使って、お年寄りの不自由さを体験し、どのように介助したらよいかを学びます。
※中学生に限り、デイサービスのVR体験ができます。



ツクイ柏崎新田池

調理師 お弁当をつくろう！



お家でも作れるプロのレシピが紹介され、実際にお弁当を作ってみます。料理が好きになれる体験ができます。



THERE IS NO END

ユーチューバー 動画の企画・編集をしよう！



YouTubeの規約、心構えを学びます。そして、実写版の動画の企画から編集までを体験します。
※撮影されても問題ない人に限ります。



グイスチャンネル

ドローン操縦士 ドローンを操縦してみよう！



さまざまな産業で、活躍が期待されているドローン。体育館で実際に操縦してみます。



小林英樹操縦士

パティシエ 涼やか夏のパルフェを作ろう！



おいしい、笑顔をつくりだす「パティシエの魔法」にふれて、あなただけのスイーツを作ります。



(有)綾子舞本創作カパン

保育士 保育士について学ぼう！



保育士としての一日のお仕事の流れを学びます。また、子どもが遊ぶ「おもちゃ」を手作りします。



新潟県保育士会 柏崎支部

医師 診察や処置体験をしてみよう！



模擬診察をし、カルテを書いてみます。血圧測定、注射(点滴)などの処置も体験します。また、医師になるための話も聞くことができます。

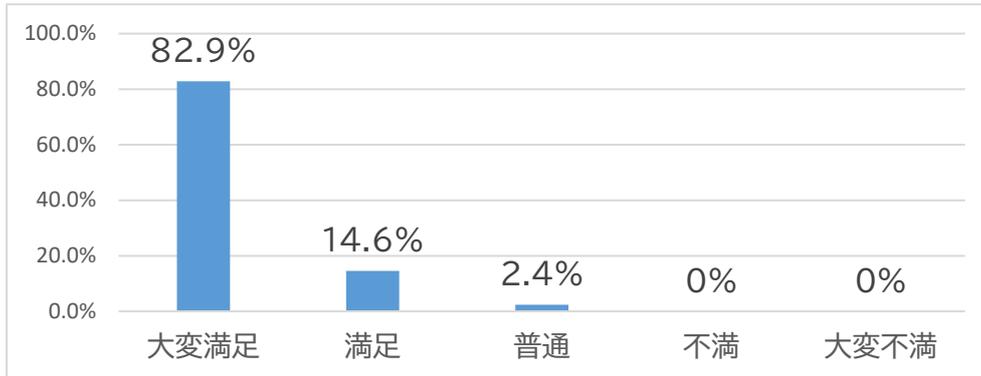


医療法人(財団)公仁会 柏崎中央病院

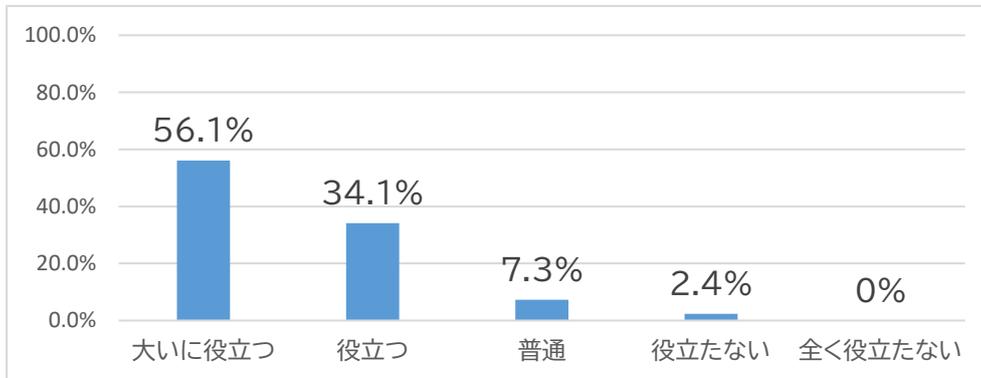
8 アンケート結果

■参加児童・生徒の回答結果（回答数：41）

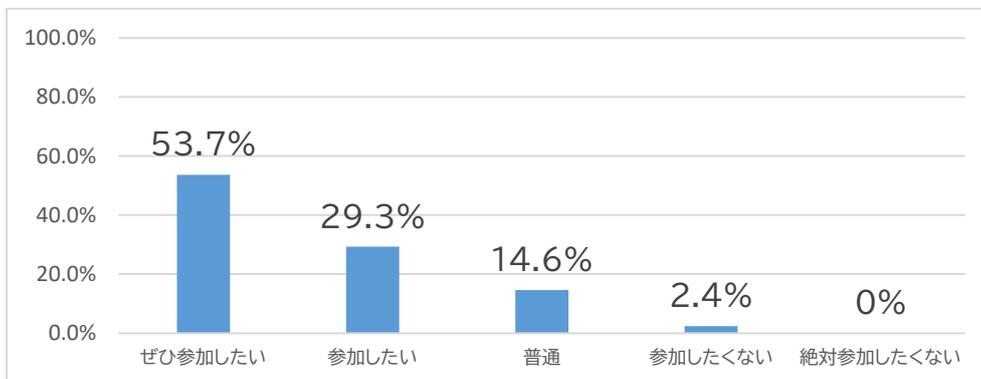
①体験の満足度を教えてください。



②今回の体験が将来の役に立ったと思いますか。



③またお仕事体験塾に参加したいと思いますか。



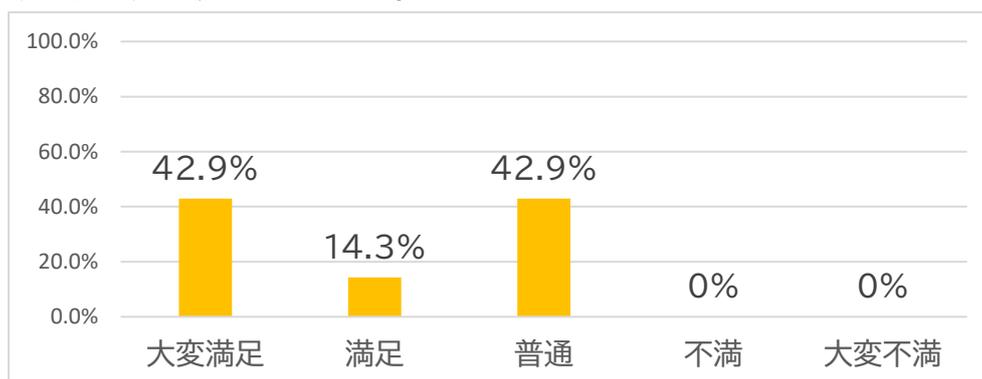
全体を通じて、体験した内容の面白かったことや難しかったこと、今回の体験を通じてより興味をもったことなど、前向きな回答がたくさんありました。

特筆すべきこととして、体験を通じて多くの子どもたちがよりその職業に興味をもち、「また挑戦したい」「もっと目指したくなった」「もっともっと勉強したくなった」など、自分の好きな職業を実際に体験することから「湧き上がるやる気」を引き出してくれたように感じています。

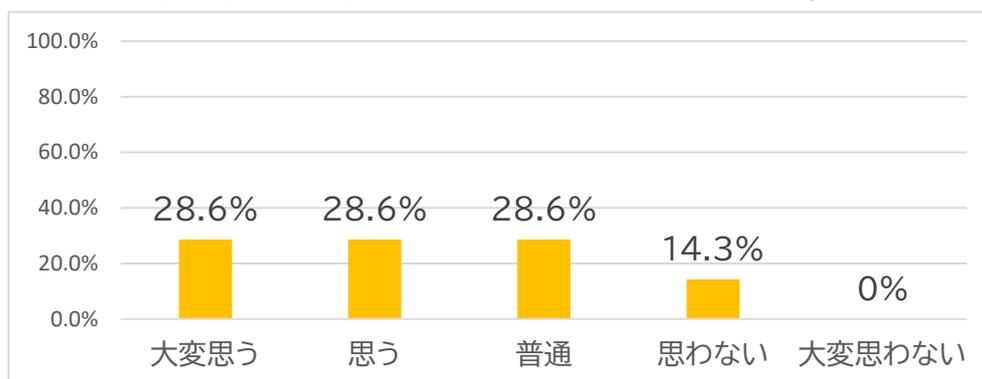
また、「来年も開催してほしい」「もっとたくさんの体験をしてみたい」「体験回数を増やしてほしい」など、参加した子どもたちは他の職業にも興味をもつ傾向があり、子どもたちが**未来の柏崎を創るためのよい体験**をできたのではないかと感じています。

■協力事業所の回答結果（回答数：7）

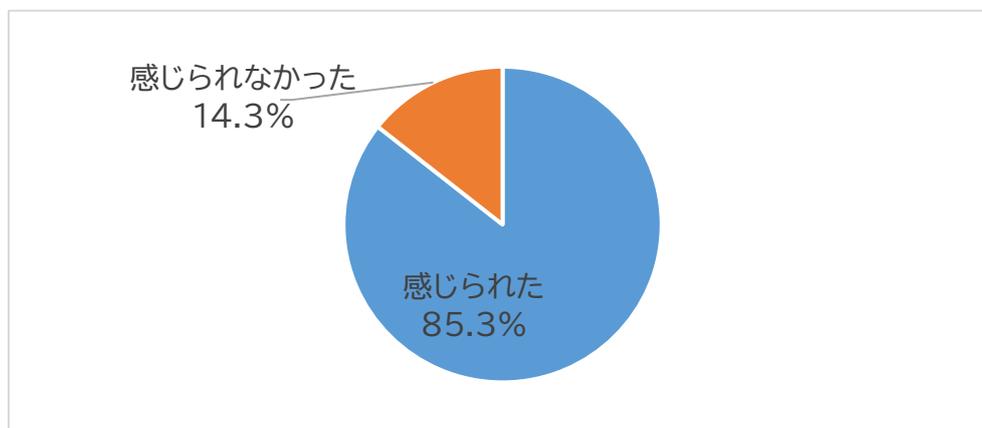
①体験の満足度を教えてください。



②子どもたちに将来役立つ体験をさせてあげられたと思いますか。



③体験前と体験後で子どもたちに変化は感じられましたか。



事業所のみなさんから事業の理解は得られているものの、アンケート結果をみると、満足度はそれほど高くない結果でした。また、子どもたちに役立つ体験をさせてあげられたかについては、「こんな体験でよかったのかな」という、不安からの結果だと推察しますが、子どもたちのアンケート結果を見ていただければ、安心していただけるのではないかと思います。

特筆すべきこととしては、参加した子どもたちの変化を「大人が感じている」ことにあると思います。子どもたちのアンケート結果と相対的に考察すると、子どもたちにとってはとても良い体験になったのではないかと受け止めています。

しかしながら、事業所のみなさんがあって成り立つ事業でもありますので、今後は事業所のみなさんの満足度を高めるためにも実行委員会は様々なサポートをしていきたいと思っています。

9 最後に

2014年にスタートしたお仕事体験塾は、途切れることなくさまざまな形で活動を行ってきました。今年度は3年ぶりに体験型で実施することができました。「受け入れ人数が少なく残念」という意見もありましたが、同時に、受け入れ人数が少ないからこそ、「本当に体験したい子どもが、真剣に長い時間、興味ある職業について、大人と話をすることができた」という意見もありました。

開催方法について、毎年、お仕事体験塾実行委員会、柏崎市教育委員会、学校の先生方で相談して決めています。これまで行ってきた開催方法のそれぞれに良い点があり、どの方法が最善ということではないと思っています。その上で、これまで継続できているのは、事業所・教育関係者・行政関係者の皆様のご協力のおかげであると感じています。

そして、柏崎地域のたくさんの大人たちが、連携して勤労観や職業観を子どもたちに伝えることで、子どもたちには「柏崎で働きたい」「柏崎の役に立ちたい」と、働くことへの意欲と社会貢献への心が育まれています。また、人生観や仕事への自信、やりがいを伝えることで、「柏崎にはこんなカッコいい大人がいるんだ」「私もこんな仕事に就きたい」と、柏崎に愛着と誇りを感じ、未来を創る子どもたちの柏崎愛につながっています。

最後になりますが、お仕事体験塾実行委員会は、子どもたちの未来のために、地域連携のきっかけの一つとして、柏崎の未来を少しでも明るく照らすことができるよう活動を続けてまいりますので、今後ともお仕事体験塾実行委員会の活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

お仕事体験塾実行委員会

実行委員長 田中 有人
実行委員 猪爪 拓也、岩間 一博、尾崎 直美、小田麻由美
小野 和也、岸 剛史、小林 淑子、近藤多計夫
近藤 光、須田 有希、前澤佳奈子、山田 智
山田 大介、吉田 淳一、若林 勝 (以上 16名)

私たち実行委員会は「お仕事体験塾」の活動を通して、子どもたちが郷土に愛着と誇りをもち、働くことの意味を実感し、柏崎の未来を創るすばらしい人材となってくれることを願っています。この報告書をもとに、何らかのかたちで「お仕事体験塾」を発展、進化、継続させていくことができればこの上ない幸せです。

